

|      |                                |      |         |     |      |
|------|--------------------------------|------|---------|-----|------|
| タイトル | はじめて学ぶ多文化共生（まんがクラスメイトは外国人；入門編） |      |         |     |      |
| 著者名  | 「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会         | 出版者  | 明石書店    | 発行年 | 2013 |
| 請求記号 | 334.4K  919                    | 資料ID | 1199829 |     |      |

### ✿先生からの推薦資料紹介✿

マジョリティとして日本社会で暮らしている人には気づきにくいことはたくさんあります。

この本は、みなさんが過ごしてきた学校を舞台に、様々な場面でみられる文化的な問題を取り上げ、その場に自分がいたら、と想像しながら考えられる本です。

私たちには目があり、耳があり、口があり、鼻があり、他者と自分との違いに気づくことは普通にあります。

ですが、そこに、善悪、優劣、があるわけではありません。

「多文化共生」というものは、相手に自分を一方的に受け入れさせることでもなく、相手を自分が一方的に受け入れることでもありません。

お互いがお互いを知り、さあ、どう落としどころを考えようか、ということに向き合う過程が必要です。この本は学校という場が取り上げられていますが、

アルバイト先、就職先、もしかしたら近所づきあい、などでも、目に見えない形で生じていることだってあるはずですよ。

大学入学時には学校生活で、部活で、そして交友関係で、すでに自分と異なる文化に接した経験はあるでしょう。

視野を広げ、これまで自分が気にしてなかったこと、背景を考えるきっかけにしてみるのも楽しい時間になると思います。

